



## マイバッグ・マイ箸持参 日常からのエコに取り組む会社

- 活動時期 → 通年
- 活動場所 → 高知県内
- 主な活動メンバー：従業員

【ホームページ】

<http://www.sunnymart.co.jp/>

(取り組み内容)

◆**マイグッズのススメ** (マイバッグ・マイ箸・マイボトル)  
会社トップ (社長・店長) のバックアップ体制の下、従業員全員にマイグッズの利用を推奨。

### ☆マイバッグ

スーパーであるため以前より実践。調査をすると従業員は90%超が持参。すっかり浸透してきました。持ってくるのを忘れてしまうときもあり・・・100%まであともう一息。

### ☆マイ箸

社長が率先して実施することにより従業員にも浸透。社内パーティー等にも、全員にマイ箸持参を呼びかける。従業員にお箸をプレゼントするといったバックアップも。

### ☆マイボトル

マイ箸ほどではないものの多くの従業員が実践。  
「水筒＝節約 (ケチ?)」イメージで敬遠していた人も、今では気持ちよく持参している。

### 【取り組みのポイント】

- ・社長や店長が本気で取り組むことで広がっていった。
- ・マイ箸持参は、数字面での効果以上に、“本当に浸透したら従業員として大きな自信”に繋がり、“会社の象徴”にもなる取り組みです。これから先のエコ活動にもつながります。
- ・従業員が率先してマイバッグを使用することも、店内で買い物されているお客様の意識啓発にもなっています。

### 【取り組みの課題】

- ・会社勤務中は実践できても、休みの日 (外食時) の実践にはまだまだ少し抵抗感があるのが現状。
- ・宴会でマイ箸を使うと、酔って忘れて帰る (笑)



社内パーティーの様子  
みんなマイ箸を使っています



偶然通りかかった役員  
もちろんマイ箸を持っています♪



休憩室でもマイ箸・マイボトル

## ((うれしかったこと))

社内では“普通”に行っていることを、外部から評価していただけることは本当にありがたく嬉しい。自分達のエコの取り組みを再認識でき、従業員のモチベーションアップにも繋がっていきます。

### ◆電気の見える化

電気使用量がリアルタイムで表示される「見えタロー」というシステムと、電気を使いすぎると責任者の携帯メールに警報が届く「デマンド監視装置」を導入。これにより従業員の意識変化に繋げる。

#### 【実践の成果】

21年5月～9月の5カ月間、前年と比べ、電気使用量106万kwh、CO2換算で35万kgの削減に成功！

### ◆廃棄物のリサイクル

- ・食品残さ → 肥料化 → 産直野菜など → 店頭へ
- ・廃プラスチック、紙くず → 固形燃料へ

#### 【取り組みのポイント】

- ・調理くず、期限切れ商品は、従業員が分別・回収している。  
→目に見えてもったいないと感じるため、  
ゴミ削減意識へと繋がる。
- ・最初はなぜこんなことを…という意識もあった。実際に肥料や固形燃料が出来上がることで意識が変わってきた。

### ◆子ども達との環境教育

生産農家に協力をいただき、食品残さも原料となっている肥料を使って子ども達と農作物を栽培。収穫した作物は子ども達の販売体験としてサニーマートで販売。

### ◆グループ企業や出店企業への広がり

サニーマートに関係する企業・店舗でも、割り箸から塗り箸への変更や、「マイ箸はこちらで洗ってください」といった貼り紙掲示など、エコの広がりがではじめている。



警報を発する「デマンド監視装置」



従業員による食品残さの分別



サニーマートの廃棄物回収車



子ども達と野菜作り

### ■取り組みに対する想い

エコを突き詰めると、「外の照明はいらない」、「商品の量も減らそう」、など、サービス低下に繋がる可能性もある、でもそうになってしまうとお店に魅力がなくなって、お客さまにも迷惑をかけてしまう。地域のスーパーとして、何が必要で何が不要かをしっかり分析し、できるエコから着実に取り組んでいきたい。

### ■県民のみなさんへ一言

まずは、お客様と一緒にできる店頭回収リサイクルやマイバック持参などに力を入れて取り組んでいきたいです。

(平成21年10月現在)